

異文化と 心通わせ

99



日本語の中に自然になじむ「ベースブル」(rev
ersible)など、動詞によれば「英語はたべる」
や「洗える」の意味となる形容詞
があります。例えば、ある紳士服のメーカーから
自分で洗えるスーツが発売されました。それには「ウォッシュ
ブル」(washable)と表示されました。ほかにも、味深いものがあつた。
表も裏も着用可能なものの 20人余りの外国人を東

京の浅草や新宿、秋葉原などを案内することになり、ガイドブックで予習をしていたときのことです。日本に関する英語で解説されている書籍はいろいろであります。その中でも私は、イラ

が、やはりそういう書いてありますし、食堂でもお水はりました。千共のじい、ワッシュ、イワシンショイと、町内のお祭りでおみこしを担いだふはありましたが、それが実はなんだつたのかまでは考へたことはありませんでした。しかし、彼が去つた後、考へさて詰されてみるとあるほどとも思ひますが、同時に水で皿を洗い、洗濯もします。でも各部屋の蛇口の水も飲めますよ。そう言うと彼は「本当に?」と、部屋の蛇口の水は飲める水なの?」。蛇口に驚いた様子でした。私は、飲める水なの?」。蛇口の水が、そのまま飲めることがあります。でも各部屋

カブル・ウォーター

いたところのひどいです。日本に関する英語で解説されている書籍は少く、あります。その中でも私は、イラスト付きのものをパラパラとめくつてしましました。すると浅草のお祭りを説明するページにおみこしの絵が描いてありました。

お祭りでおみこしを担いだことはありましたが、それが実はなんだつたのかまでは考へたことはありませんでした。こうして詫されてみるとなるほどとも思います、同時に、敵かなものに、ボケット」でも入れられるような品物に使う「ボーネブル」が使われていることが、なんだか妙に思えます。すんなり受け入れられないので、心持ちがしました。

ほかもこの「*tab* 当たり前のように身近

スト付きのものを
をパラパラとめ
くつてしまし
た。すると選草
のお祭りを説明
するページにお
みこしの絵が描
いてありました。
「あれ? おみ
こしへ茶語だな
んて書いんだろ
う…」。見てみ
るといふおみこし
の絵の下に「p.
10

に、厳かなものにして、ボケもしく、探さなくてもどちらにでも入れられるよンカブル・ウォーターがうな商品物に使う「ボータブル」が使われていること、なんだか妙に思えてすんなり受け入れられない気持ちがしました。

ほかにも、じの「～ab 1e」をつけて使う単語で、はつとせせられた言葉があります。職場にアフリカ人の男性が来日した直後、私のところに来て言いました。「ドリンクカブルす。

当たり前のように身近にあるもの、そして自分がおされた環境は、外国人の方とのふとした言葉のやりとりで、とっても貴重なだと気づかされま

とあります。ポータブル いるんだけど」。ドリン
ル＝持ち運びができる、 カブル（飲める）・ウォ
シュライン＝神社という ーター（水）、飲料水で
訳だったのです。持ち運 す。「お水？」私は足
りません。神社へ ふつて、お水を貰うことを
思ひ出しました。

table shrine (祭
タブル・スル)」

• ドリンク (drink) (靈感性のため、口-ト-ハ
ble water) 水(スイ) 水(スイ)